

## 凡

## 例

1. 本書は、東京都について経済、社会および文化の全分野にわたり総合的に統計を集録したもので、統計表には、他と区別する必要のないかぎり、東京都という名称を省いてある。
2. 本書は、昭和29年（または昭和29年度）を主として集録し、他の年（または他の年度）のものは、比較対照のため掲げてある。
3. 統計表は、特に頭注等にとわりのないかぎり、暦年間（1月から12月まで）、何年度とあるのは会計年度間（4月から翌年3月まで）の事実を示し、何年末、何月末等、あるいは何年何月何日とあるのは、その期日の事実現在を示す。
4. 本書は第1編（一般統計）、第2編（生産動態統計、繊維流通統計）に分け、編ごとにそれぞれ表名に一連番号を附し、また、各ページの左上か、右上に目次の分類名を記して索引に便ならしめた。
5. 統計表の一般的説明は頭注とし、表中説明を要する個々の事項は原則として脚注にした。また資料出所は脚注の一部として掲げてある。
6. 統計表中の符号の用法は、次のとおりである。

「—」……………皆無、または該当数字なし。

「…」……………資料なし。

「0」……………0.5未満

なお、「0.0」のような場合は、上に準じて0.05未満を示す。
7. 附録として、度量衡換算表を掲載し、計算その他の利用に便ならしめてある。

また、東京都の地図を附して地域範囲を明らかにし、統計表の理解上、いささかなりとも資するよう努めた。